

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年4月1日			
シنفォニー					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		状況に応じた室内のレイアウト変更など空間を有効かつ安全に活用する工夫により、定員に対して適切なスペースが確保できていると認識している。今後はこの良好な環境の維持に努めるとともに、現状の取り組みに満足することなく、さらに効果的な空間配置のあり方を継続して見直し、検証していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		基本の職員配置は適切と全員が評価しているが、送迎時間帯の人員体制に一部課題が残る。今後は、当施設独自のピアスタッフ制度による見守り協力を要請するなど連携を強化していくことで送迎時の一時的な手薄さを補い、安全で適切な人員配置が維持できるよう努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		階段に昇降機（リフト）を設置し、怪我をした児童への対応等も含め、状況に応じたバリアフリー環境を整えている。多くの職員が適切な配慮がなされていると評価しているが、今後は現在の設備活用を継続するとともに、児童の特性や状態の変化に合わせて視覚的な分かりやすさ（構造化）やさらなる環境上の工夫を継続的に見直し、検証していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		利用開始前の全玩具の消毒など、日頃の衛生管理により心地よい空間が保たれており、全員が適切と認識している。今後はこの清潔な環境を継続して維持していくため、汚れが目立ってきたフロアマットの交換を速やかに行うなど、状況に合わせた設備のメンテナンスや見直しを継続的に実施していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		別室を使用する際には児童からの自発的な声かけ（「いきます」等）と、職員による確実な所在把握を徹底しており、全員が安全に配慮された環境であると認識している。今後はこの習慣の維持に努めるとともに、児童のその時々状態に合わせ、より安心・安全に個別空間を活用できるよう職員間の連携や見守りの質を維持・向上させていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		「報連相」を重視し、児童の様子を職員間で共有し合える環境が定着しており、全員がPDCAサイクルへ参画できていると評価している。今後も情報共有体制を維持していくとともに、日々の振り返りで得られた気づきや課題を、次なる具体的な目標設定や日々の業務改善へ繋げ、支援の質を高めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年一回の保護者面談や送迎時など、定期的・日常的なコミュニケーションを通じて保護者の意向を把握する体制が整っている。今後はこの良好な関係性と声の拾い上げを維持していくとともに、いただいたご意見を単なる把握で終わらず、日々の業務改善や支援の質の向上へと繋げていけるよう、職員間の情報共有を強化していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員・ピアスタッフを対象とした勉強会を定期的の実施し、日常的に意見を出し合い把握できる体制を整えている。今後はこの学びの場を維持していくとともに、勉強会の中で生まれた現場のアイデアや気づきを、実際の業務改善や支援の質の向上へと繋げていけるよう、実践的な取り組みを強化していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者による外部評価の実施と結果の把握について、全職員が適切に行っていると評価している。今後はこの良好な意識を維持し、外部から得られた貴重な客観的視点や評価結果を単なる確認で終わらず、日々の支援の質向上や事業所の具体的な業務改善へと繋げていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月1回の定期研修や臨時のS・V（スーパービジョン）など、学びの機会が十分に確保されていると全員が認識している。今後も育成環境を維持していくとともに、研修等で培った専門性と個々の気づきを日々の現場でさらに活かしたい、事業所全体の支援の質を継続的に高めていけるよう努めていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		曜日ごとのカリキュラムと、パンフレット等による適切な外部公表が行っていると全員が評価している。今後も運用体制を維持していくとともに、児童の成長や日々の状況に合わせてプログラムの内容を継続的に検証・充実した支援の提供と情報発信に努めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		送迎時の対話や保護者面談を通じて多様なニーズを聴き取り、客観的な分析に基づいた放課後等デイサービス計画を作成できていると全員が認識している。今後もアセスメント体制を維持していくとともに、児童や保護者の状況変化にも対応できるよう、日頃のコミュニケーションと計画の定期的な見直しを継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員が共通理解のもとで子どもの最善の利益を考え、計画作成に参画できていると全員が評価しています。今後もチーム体制を維持していくとともに、日々現場での気づきや多角的な視点を計画へ反映し合えるよう、職員間の日常的な意見交換の場を継続し大切にしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		作成された計画が全職員間で共有され、日々の現場でも、支援が適切に行っていると全員が実感している。今後はこの良好な連携体制を維持していくとともに、児童の毎日の小さな変化や成長をみんなで共有し合い、計画に基づいたさらに質の高い支援へと継続して繋げていく。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の行動観察を通して、子どもの状況把握に努めている。今後も継続して適切なアセスメントと支援の充実を図っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		活動プログラムの立案において、チーム全体で取り組めており、適切な体制が整っています。今後もチーム体制を維持していくとともに、カリキュラム講師との連携・情報共有を継続し、専門的な視点も交えながら、プログラムの企画・実践に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムの立案において、チーム全体で取り組めており、適切な体制が整っている。今後もチーム体制を維持していくとともに、カリキュラム講師との連携・情報共有を継続し、専門的な視点も交えながら、実践に努めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子どもたちの『今』に合わせた柔軟な関わりを大切に維持し、いつでもみんなが新鮮な気持ちで、無理なく楽しく参加できる活動を工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもたちのその日の状態や目標に合わせて、じっくり過ごす「個別の時間」と、みんなでワイワイ過ごす「集団での時間」をうまく組み合わせ計画を立て、現場でもしっかり形にできているとスタッフ全員が実感している。これからも、この「一人ひとりのペースも、みんなでの育ち合いも両方大切に」姿勢をしっかりと維持し、子どもたちが無理なく一歩ずつ成長していけるような温かい支援を続けていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		チームワークよく動いていると実感している。今後もこの体制を維持し、スタッフ間の連携を大切にしながら、毎日子どもたちを安心・安全に迎え入れていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後の振り返りについて、形式的な会議の時間としては設けていないものの、日常的なコミュニケーションの中で、その日の気づき等が共有できている。今後も柔軟な情報共有体制を維持していくとともに、日々の対話から得られた重要な気づきを、次なる支援計画や具体的な改善へと継続的に繋げていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援記録を徹底し、支援の検証や改善につなげている。今後も継続して記録の活用と支援の質の向上に努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児童1人ひとりに対し、半年に1回の頻度で土曜日に個別のモニタリングを定期実施しており、適切に判断できていると全員が評価している。今後もモニタリング体制を維持していくとともに、評価を通じて得られた児童の成長や新たな課題を放課後等デイサービス計画へと反映させていけるよう努めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインに則り、「4つの基本活動」を複数組み合わせ日々のカリキュラムや、季節ごとのイベントを実践できていると全員が実感している。これからも、みんながワクワクしながら、日々の生活スキルや社会性を自然と身につけていけるような、プログラム等を大切に維持していく。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		日々の活動の中でそつと隣に寄り添いながら「一緒に導く支援」を大切にし、子どもたちの「できた！」という自信に繋がっていると実感している。今後も本人の意思を尊重する温かい支援を維持し、子どもたちの自己決定力をじっくり育てていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童の状況を理解している職員が会議に参加し、関係機関との情報共有や連携を行えている。今後も継続して連携の強化に努めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		学校をはじめとする関係機関と連携し、必要に応じてケース会議等に参加しながら情報共有を行い、支援体制の充実にも努めている。今後も継続して関係機関との連携を図り、より良い支援につなげていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時や連絡ノート、LINEを用いた情報共有や連絡調整を行うとともに、学校で開催される事業所連絡会等にも参加し、学校との連携に努めている。今後も継続して情報共有を図り、円滑な支援につなげていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	就学前に利用していた関係機関との情報共有や相互理解に努めており、必要に応じて連携を図っています。今後も円滑な支援につなげられるよう、継続して情報共有に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	障害福祉サービス事業所等への移行時には、必要に応じて支援内容等の情報提供を行っている。今後も円滑な移行支援につなげるよう、関係機関との連携や情報共有に努めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	児童発達支援センターとの連携は必要に応じて行っている。今度も助言や情報共有を行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在、放課後児童クラブや児童館等との交流の機会は多くないが、今後は活動内容や利用児童の状況を踏まえながら、地域の子どもたちと関わる機会について検討していく。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4	現在は施設内での活動を主軸としているため、自立支援協議会への参加は行っていない。今後は必要に応じて地域の関係機関との連携や参加の機会について検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や公式LINE等を活用して保護者との情報共有を行い、こどもの発達状況や課題について共通理解を図っている。今後も継続して丁寧な情報共有に努めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	現在、家族向け研修は実施していないが、今後は保護者のニーズを踏まえながら、情報提供や支援の機会について検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。今後も利用者や保護者に分かりやすい説明を心掛け、継続して適切な情報提供に努めていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		放課後等デイサービス計画を提示しながら支援内容について説明し、保護者の同意を得たうえで支援を行っている。今後も継続して分かりやすい説明と丁寧な対応に努めていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容について説明をし、保護者の理解を得たうえで同意をいただいている。今後も継続して分かりやすい説明と丁寧な対応に努めていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの子育てに関する相談に適切に応じ、必要に応じて面談や助言を行うとともに、相談室の活用等も通して支援を行っている。今後も安心して相談できる環境づくりに努めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者との情報共有や相談の機会については個別面談を中心に実施している。一方で、共働き家庭が多いことから全体での保護者会や交流の機会は設けていないため、今後も保護者のニーズや参加しやすい方法を検討しながら支援の充実に努めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		こどもや保護者からの苦情に対応できる体制を整備し、必要な周知を行うとともに、苦情があった際には迅速かつ適切な対応に努めている。今後も安心して利用できる環境づくりに取り組んでいく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページを活用し、活動の様子を写真とともに毎日発信することで、こどもや保護者への情報提供に努めている。今後も継続して分かりやすい情報を発信し、開かれた事業所運営に取り組んでいく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の重要性を十分に認識し、適切な管理と取扱いに努めている。今後も継続して個人情報保護の徹底を図り、安心して利用できる環境づくりに努めていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		障がいのあるこどもや保護者の状況に応じた方法で意思疎通や情報伝達を行い、円滑なコミュニケーションに努めている。今後も一人ひとりに配慮した対応を継続していく。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	利用児童への支援を中心に事業運営を行っているため、現在地域住民を招待する行事等は実施していない。今後は必要に応じて地域との関わり方を検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		事故防止や緊急時、防犯、感染症対応等に関する各種マニュアルを整備し、職員や家族への周知を行うとともに、発生を想定した定期的な訓練を実施している。今後も継続して安全管理体制の充実に努めていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備えた避難訓練等を定期的に実施している。今後も継続して訓練や見直しを行い、安全な事業運営に努めていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		投薬依頼書を活用するとともに、保護者との情報共有や連携を図りながら、服薬状況やてんかん発作等のこどもの状況を事前に確認している。今後も継続して適切な健康管理と安全な支援に努めていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者との情報共有や連携を図りながら、状況や発作等のこどもの状況を事前に確認している。今後も継続して適切な健康管理と安全な支援に努めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に関する点検等を実施するとともに、防災宿泊体験や避難訓練等の取り組みを通して、安全な支援環境の整備に努めている。今後も継続して安全管理体制の充実に努めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者面談等を通して、安全計画に基づく取り組み内容の周知を行っていく。今後も継続して安全な支援の実施に努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた検討や対策を行っている。今後も継続して職員間で情報共有を図り、安全な支援の提供に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する社内研修を実施するとともに、虐待防止委員会を設置し、職員の意識向上と適切な対応に努めている。今後も継続して虐待防止体制の充実に努めていく。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	やむを得ず身体拘束を行う場合は、事前に保護者へ説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載する体制を整えている。今後も適切な対応に努めていく。
--	----	--	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 シンフォニー

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 29名

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0		今後も安全に配慮し、お子さま一人ひとりのびのびと活動できるよう、適切なスペースの確保と環境整備に継続して努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	0		職員だけではなく成人利用者のピアスタッフも共に活動に加わり、手厚い見守りを行っています。今後もこの体制を軸に、一人ひとりに寄り添った適正な配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2	0	0		今後も柔軟な関わりを通じ、安心できる居場所作りを工夫します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1	0	0		今後も清潔で心地よい空間を維持し、お子さまが自分らしく、のびのびと過ごせる環境作りを継続してまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		今後も一人ひとりの「その子らしさ」を大切に見つめ、個々の特性や成長に寄り添った支援に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		今後も講師と連携をし、カリキュラムの充実に努め、お子さまの成長にも繋がる活動を提供してまいります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		今後もご家庭との連携を大切に、お子さまの様子やご希望をお伺いしながら、支援計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		今後もお子さまやご家族の状況に合わせ、日々の活動等がより充実するよう、支援を行ってまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		今後もお子さまの今の姿も大切にしながら、計画に基づきつつ暖かみのある関わりを継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	3	0	0		曜日ごとのカリキュラムを軸としつつ、お子さま同士の関わり等から生まれる「その時にしかできない活動」を大切にしています。今後も工夫を凝らしてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	10	5	0	機会がありそうな日に利用していないのでわかりません。/うちの子の利用日にはないですが、なくてもいいかと。	現在は施設内での活動を主軸としております。今後もまずはお子さまの支援を優先しながら、地域との繋がり方についても慎重に検討してまいります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		今後も丁寧で分かりやすい対応を心がけ、皆様に安心感を持っていただけるよう努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		今後も計画のねらいや日々の関わりについて、分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	12	2	0	ペアレント・トレーニング、保護者が自分で調べて勉強すればいいと思います。	当施設では現在行っておりませんが、日々の情報共有をより充実させ、ご家庭との歩みを共にする支援に努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0		今後も日々の情報共有を大切に、ご家庭とできるだけ同じ視点で見守りながら、成長を共に支えていけるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0		今後もスタッフ一同、皆様との信頼関係をより深め、お子さまの成長等について身近でお話ができるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	以前、参加したクリスマス会がとても楽しかったので、機会があればまた開催して欲しいです。	過去のクリスマス会に関して暖かなお声も聞けていること、嬉ばしい限りです。行事に限らず様々な角度から、お子さまやご家族の笑顔に繋げていくことを模索するとともに、共感が伝わる形でお話しできるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	9	0	日々の子どもの通所で充分助かっています。	当施設では現在イベント等は行っておりませんが、日頃の面談や日々のコミュニケーションを通じ、柔軟なサポートを心がけてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3	0	0		今後も何かあった際には、安心して頼っていただけるよう、周知を行うとともに丁寧な対応に努めてまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		今後もご家庭との連携を大切に、状況に応じた配慮を心がけ、情報共有に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	0	0		システムの不具合により、更新が滞っており申し訳ございません。解消され次第お届けいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		今後も大切なお預かり情報を厳重に管理し、皆様に安心いただける運営を継続してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	5	0	0		当施設では、年間を通じた安全計画を策定、社内研修を重ねて対策の強化を図っております。今後はホームページでも公開し、明確にお伝えできるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	4	0	0		当施設では、定期駅な避難訓練に加え、小学4年生以上を対象とした、防災宿泊体験を実施しております。帰宅困難時を想定した実践的な備えを行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	0	0		当施設では、月ごとに設備・環境などの安全点検を定めた安全計画を作成し、計画に基づいた運用を行っております。今後はホームページでも公開し、明確にお伝えできるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3	0	0		今後、速やかなご連絡と状況報告を優先に行い、保護者様との連携を欠かさず、安心して任せていただけるよう誠実に向き合っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		今後一人ひとりの気持ちに寄り添い、お子さまが自分らしく過ごせるような温かい居場所作りにスタッフ一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0		これからも「ふうふう」らしく、お子さま一人ひとりのありのままの姿を大切に、日々の何気ない時間も一緒に楽しみながら過ごせる時間を積み重ねてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0		皆様からの温かな言葉励みに、これからもスタッフ一同、一人ひとりの歩みを大切に支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。